

◆路線の評価結果（見直し方針案）

路線名	図面 番号	評価 結果	評価の主な内容
3・4・38-2 南大通り線	①	存続	伊田駅周辺の都市再生整備計画事業や田川市立地適正化計画の策定により、本路線の位置づけが高く、当初の計画内容での整備を推進する。ただし、将来交通量に応じた道路幅員の見直しについても今後考慮する必要がある。
3・4・38-3 伊田駅鉄砲町線	②	廃止	県道金田夏吉伊田線が代替機能を有しているほか、広域幹線道路（田川直方バイパス延伸）の事業化により、整備効果が極めて低いことから廃止とする。
	③	廃止	
3・4・38-4 後藤寺伊田線	④	変更	都市計画道路としては道路幅員を縮小することで実現性が向上するため、現道に沿った幅員に見直す。都市計画変更後は整備済路線として取り扱う。
	⑤	廃止	計画内容を変更しても実現性が向上しないため廃止とする。
	⑥	廃止	
	⑦	変更	将来交通量推計が減少しており、車線数・幅員等を見直すことによって実現性が向上するため、都市計画の変更を行う。
	⑧	変更	
3・4・38-6 中央団地川宮線	⑨	廃止	膨大な事業費が掛かるため事業化が見込めず、計画内容を変更しても実現性が向上しないことから廃止とする。
	⑩	廃止	県道金田糸田田川線が代替機能を有する区間であるが、事業化が見込めないことから廃止とし、県道の機能強化を図ることとする。
3・4・38-7 西本町桜町線	⑪	存続	中心市街地における円滑な交通処理や安全な歩行者空間の確保、沿道の土地利用を進める役割を担っている。計画当初と変わらず必要性が高く、整備を推進する。
	⑫	存続	
	⑬	廃止	田川市立地適正化計画における基幹ネットワークに位置づけられておらず、現道である県道金田糸田田川線が代替機能を有していることから整備の必要性が低いため廃止とする。
3・4・38-8 後藤寺駅見立線	⑭	存続	後藤寺駅前整備計画を策定中であり、田川市立地適正化計画での位置づけも高い区間である。交通結節点の機能向上を図る上での必要性が高く、整備を推進する。
	⑮	存続	広域幹線道路と中心市街地を結ぶ路線であり、福岡都市圏への高速バス路線でもある。後藤寺駅前整備計画を策定中である現段階では、本路線の必要性は高いと判断し、今後の整備状況等によって再度見直しを検討する。
	⑯	存続	
	⑰	存続	
3・4・38-12 松原日吉町線	⑱	変更	都市計画道路としては道路幅員を縮小することで実現性が向上するため、現道に沿った幅員に見直す。都市計画変更後は整備済路線として取り扱う。